

# 人工骨頭置換術（みぎ・ひだり） 入院計画書

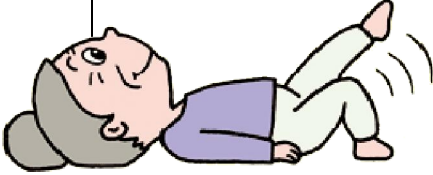
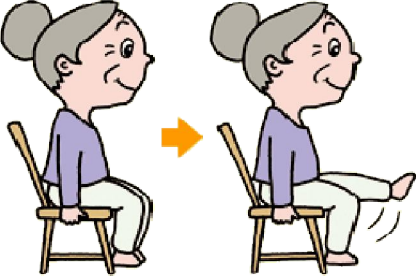
様

主治医：  
看護師：

症状説明: あなたの病名は大腿骨頭部骨折です。  
股関節痛があり歩行困難を認めます。  
人工骨頭置換術を認めます。入院期間は2週間です。

転院基準 : 創部に感染の兆候がない。

	入院時	手術前日 ( / )	手術当日(前) ( / )	手術当日 ( 後 )	術後1日目 ( / )	術後2日目 ( / )	術後3日目
検査 治療 処置	●血液検査、尿検査、心電図検査 ●鼻の粘液の培養検査(必要時) ●胸部・腰部レントゲン撮影 ●かかりつけの医院等がありましたらお知らせ下さい。 ●既往歴に応じて他科を受診をします ●麻酔科診察を受けます ●下肢エコーの結果で足にエアポンプまたはコンプリネット(静脈血栓予防弾性ストッキング)をはきます	●必要時血液検査 ●リストバンドに名前を記入していただきます。 ●足の動脈にマジックで印をつけます。	●左手に点滴用の管を入れます。 ●リストバンドをつけます。 ●手術衣に着替えていただきます。	●手術直後は30分毎に検温しますが、その後は1~3時間毎になります。 ●手術した足はクッションで軽く上げます。 ●血液検査(必要時) ●創部に血液が貯まらない様にドレーン(管)が入ります	●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●血液検査があります。 ●主治医が創部の消毒とドレーンを抜きます ●足のエアポンプを外します。 ●コンプリネットプロをはいてもらいます。(弾性ストッキング) ●CPM(器械を使って1時間足を曲げるリハビリ)を病室のベッド上で始めます。	●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。	●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 
薬剤	●普段内服している薬がありましたらお知らせください。	●必要時、中止する薬があればお知らせします。 ●必要時浣腸をします。	●点滴を始めます。 ●朝、内服していただく薬がある場合は、飲水が可能な時間に服薬していただきます	●点滴を行います。 翌朝まで続けます。 ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 ●吐き気、頭痛があれば看護師にお知らせ下さい。			
安静度	●痛みのないように安静にしてください。 ●痛みや骨折の状態に応じ車椅子移乗を介助で行います		●手術室に向かいます。	●ベッド上安静になります。 ギャッジアップは30度までです。 側臥位になる場合は看護師が介助します	●ベッドに端座位になれます ●車いす移動が可能となります ●車椅子→歩行器→杖へと初回は、担当者が付き添います ●歩行を進めていきましょう ●可重の制限はありません ※移動・運動時は運動靴を履きます	●担当療法士の指示に従って車椅子→歩行器→杖へと歩行を進めていきましょう ●担当療法士の指示に従って歩行距離や日常活動を拡大していきましょう	
リハビリ テーション	●医師の許可があれば車椅子に座れます ●担当する理学療法士がお部屋に訪問し、入院前の身体機能などを検査します。				●車椅子でリハビリ室に行きます。 筋力トレーニング・歩行に向けた動作練習を行います。 ●術後の状態について評価し、リハビリのゴールプログラムについて説明します。 その計画書にサインを頂きます。		
排泄	●床上排泄、尿の管を入れます。			●床上排泄です。	●尿の管は、移動動作が可能になれば抜きます。		
清潔	●ベッド上で洗面、歯磨きをおこないます。 ●食事ごとに手を拭きます。 必要時ウエットティッシュを準備して下さい	●手術する部位の除毛をします。 ●ひげはそって下さい。 ●マニキュアはとって下さい。 ●爪が伸びていれば切って下さい。	●化粧はしないで下さい。 ●時計、アクセサリー、入れ歯は外して下さい。		●体を拭き、手術衣からパジャマに着替えます。	●週2回 体を拭きます。 ●週1回 洗髪を行います。 ●トイレに移れば、ウォシュレットで陰部をきれいに流しましょう。	
食事 栄養管理	●普通食 ●特別な栄養管理( <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ) ●手術までは、病院食のみ食べるようにして下さい ●嚥下の状態や全身状態により絶食になる事があります	●普通食 ●手術前日午後24時以降は食べられません。	●水分は、AM6時まで摂取可。(午後の手術は9時まで可) ●食事は食べられません ●一番最後に飲んだ水分の量と時刻と種類を看護師に伝えて下さい。 	●帰室後6時間後より腸の動きがあり、おならが出れば水分から摂ることができます。 (看護師に声をかけて下さい。) 主治医の許可が出れば流動食の摂取も可能となります。	●朝は全粥です。 昼から米飯になります。 		
説明 指導 教育	●手術・転院の説明をします。 ●手術、入院に必要な書類を渡します。(同意書・問診表)入院時に提出して下さい。 ●禁煙をしてください。  <手術の必要物品> <input type="checkbox"/> バスタオル 2~3枚 <input type="checkbox"/> スキナクレン <input type="checkbox"/> 運動靴  その他入院時 	●必要書類をいただきます。(承諾書・同意書・問診表 個室の場合は申し込み書) ●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。(主治医・看護師) ●手術室看護師の訪問があります。 ●眠れない時は、看護師にお知らせ下さい。 ●担当する理学療法士が術後のリハビリについて説明します。	●術衣に着替える前(手術室入室する30分前)うがいと排尿を済ませ下さい。 ●バスタオルを1枚用意して下さい。 ●転院病院について連携室担当者より説明をします  ※手術室入室する時刻( 時 分の予定)  ※ご家族のかたは手術中、B棟2階の待ち合いコーナーか、A棟6階でおまちください。必ずどなたかが	●帰室後6時間後より腸の動きがあり、おならが出れば水分から摂ることができます。 (看護師に声をかけて下さい。) 主治医の許可が出れば流動食の摂取も可能となります。	●転倒に注意しましょう ●手術後は、脱臼予防のために手術をした足を大きく内側や外側に動かさないようにしましょう 		

	術後4日目～7日目	術後2週目
検査・治療・処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。(リハビリに行く前に熱を測ります。)</li> <li>●ストッキングは、入院中または、術後2週目まではいていただきます。</li> <li>●7日目に下肢エコーがあります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎週月曜日にレントゲン撮影と採血を行います。</li> <li>●術後10日目に抜糸をします。</li> </ul>
薬剤		
安静度		<ul style="list-style-type: none"> <li>●理学療法士の指示に従って、車椅子→歩行器→杖へと歩行をすすめていきましょう。</li> <li>●理学療法士の指示に従って、歩行距離を拡大していきましょう。</li> </ul>
リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>●足は開き気味に、足の向きは体と同じ方向に、膝は内や外を向かないように注意しましょう。</li> <li>●手術した足をつけての移動的歩行練習・筋カトレーニングを行います</li> <li>●治療計画に沿って連携病院へ転院をしていただきリハビリテーションを継続します</li> </ul>	
排泄		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2回/週 体を拭きます。</li> <li>●1回/週 髪を洗います。</li> <li>●術後7日目よりシャワーを開始(2回/週)を開始します</li> <li>指導・介助を行います</li> </ul>	
食事・栄養管理	●普通食です。	
説明・指導・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●太ももの筋肉、お尻の筋肉をつけるために足上げの訓練をしましょう。自分で足が上がるようになれば下図の訓練を行いましょう。</li> <li>●筋トレ目標1日100回</li> </ul>  <p>仰向けに寝て、片方の足をのばし、もう片方の足は膝を曲げます。のばした足をそのままゆっくり上に上げて、4つ数えたらゆっくり下ろします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自宅の生活環境を整え、洋式の生活に変更しましょう。シャワーチェア・脱衣室のイスなどについて一緒に考えましょう。</li> </ul>  <p>椅子に座って、できるだけ背筋をのばし、膝をゆっくりのばします。足をまっすぐにした状態で4つ数え、ゆっくり下ろします。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●退院日： 月 日 ( )</li> <li>●次回受診日： 月 日 ( ) 時 分 医師</li> </ul> <p>* 転院先の病院を退院される時に 当院外来の予約を行い受診して下さい</p>

上記内容について説明を受けました。

お名前 \_\_\_\_\_ (署名)